

# 複数の視点から自己の考えを深め、論理的思考力を養う ー『土佐日記』の「女性仮託」を考えるー

- 1 科目名 国語総合
- 2 単元名 日記（古文）
- 3 教材名 紀貫之『土佐日記』 「門出」 「帰京」  
(本文プリント①～④、語句・内容・まとめプリント①～④、発展プリント①～④)

## 4 単元の内容

単元の目標  
と評価規準  
・評価方法

### ①単元の目標

- ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。(関心・意欲・態度)
- イ 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。(話す能力・聞く能力)
- ウ 古典文法、語句の意味、用法などを理解する。(知識・理解)

### ②単元の目標設定の理由

- ・現代文・古文を問わず、様々な教材で問題演習の機会と時間を設け解説を行っているが、とにかく模範解答のような一つの正解を安易に求めたがる傾向がある。「『土佐日記』ではなぜ「女性仮託」という手法がとられたのか」という問いは作品の読みの問題であり、多様な解釈が成り立ち得る。正解のない問いに加え、異なる考えに触れることで、多角的な視点と粘り強く思考する力を涵養する機会としたい。また、新大学入試共通テストを視野に入れ、モデル問題例に示されたような異なる考え方の資料を読み取り検討する言語活動を通じて、読解力と表現力の伸長も狙った。

### ③中心となる学習活動

- ・「女性仮託」に対する複数の資料を要約し、それをもとに自分の考えをまとめる。その後、まず自分と近い考えの者同士（グループA）で意見交流し、自分の意見を補強する。次に、自分の意見と異なる考えの者同士（グループB）で意見交流し、最も説得力のある意見をまとめ、その理由や根拠なども含めて全体に向け発表する。

### ④言語活動の工夫

- ・資料の要約は、難度が高いため効率的に作業できるようにペアワークを行う。自分の意見をまとめる活動は、各自の思考を深めるため個人で行う。意見交流は、自分の意見の補強と異なる意見をまとめるという目的に応じた異なる2つのグループ編成で行う。このように、それぞれの学習活動の目的に沿って最適と思われる形態を組み合わせた。速やかにそれぞれの形態に移行できるように、事前に授業展開を具体的にイメージしてシミュレーションしておく必要がある。

### ⑤評価

	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心・意欲・態度	①主体的に資料を読み取り、理由や根拠を意識しながら自分の考えを持とうとしている。 ②積極的に意見交流し、グループ活動に貢献している。	観察（机間指導） （発言） 点検（プリント）	・資料の読み取りが難しい場合、まずは重要箇所を傍線を引き、その箇所をもとにまとめるよう助言する。 ・話し合いが円滑に進むよう適宜助言する。
話す・聞く能力	①「女性仮託」について自分の考えを持ち、理由と根拠を挙げながら論理的に説明している。 ②「女性仮託」について自分の考えを持ち、グループ全体として意見をまとめることができる。	観察（机間指導） （発言） （発表） 点検（プリント）	・随時資料にもどって論点を確認するよう助言する。 ・正答、誤答があるような問いではないので、自分の考えに自信をもって積極的に発言するよう助言する。

	知識・理解	①重要古文単語・助動詞・古典文法を理解し、的確に訳出している。	観察（発言） 点検（プリント）	・適宜文法書、辞書などを活用する。 ・これまで学習した教材を挙げ、どこで習ったか思い起こせるよう助言する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の導入として、新大学入試共通テスト国語の記述式モデル問題例などを紹介したことで、生徒の関心を高め、目標を明確にすることができた。授業後に生徒に対するアンケートを行ったが、「この学習のねらいはよく理解できた」という答えが多かった。</li> <li>・資料は基本的に学術論文なので高校1年生にはやや難度が高い読解となり、意欲を削いでしまわないかという危惧があったが、授業後の生徒アンケートでは「興味を持って取り組むことができた」という答えが多く、生徒は積極的に活動することができた。</li> <li>・資料読解が難しく、グループ活動も複数回設定してあったため、生徒から「全体的に時間不足」という声が聞かれた。特に、生徒が最も興味を持って取り組んだ活動に「違う意見のひととのグループ意見交流」を挙げていたので、もう少し時間をとって意見をたたかわせることができればより深い学びにつながった可能性がある。</li> <li>・授業後、「先生は（女性仮託について）どう考えているのですか？」という質問に来た生徒が複数おり、古典に対する興味・関心を高めることについては一定の成果があったと考えられる。</li> </ul>			
アドバイス 及び 留意点	①やや難解な資料の読解と要約、複数回のグループ編成と話し合いなど、時間がかかる学習活動が多いので、タイムキープと学習の深まりとのバランスをとるのが難しい。もう少し平易な資料を探して、数を絞って提示するという方法も考えられる。 ②現代文・古典を問わず、特に文学的な文章になればなるほど、読みの問題として多様な課題が存在する。作品の根幹にかかわり、尚且つ生徒の興味を惹く問題設定ができれば、生徒の関心・意欲・態度を高めることができると思われる。			
小中学校との系統性	①中学校・第3学年・話すこと・聞くこと ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。こと。 ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。			

## 5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○本文の内容を読解する（「門出」）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントに沿って、教科書と資料集などを参考にしつつ、紀貫之や『土佐日記』に関する文学史的知識について理解する。【Cア】</li> <li>・プリントに沿って、「門出」本文を現代語訳しつつ内容を読解する。【Cア・Cイ・Cウ】</li> </ul> ＊留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日記文学」であることと、女性の立場からの記述をはじめとする臚化表現に注意させる。</li> </ul>	古典文法や古文単語を理解しつつ、正確に現代語訳できている。【読】 ↓ 観察（机間指導）（発言） 点検（プリント）	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ 机間指導によって学習状況を観察しつつ、文法や単語については辞書や文法書で調べるよう助言しておく。
2	○本文の内容を読解する（「門出」）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントに沿って、「門出」本文を現代語訳しつつ内容を読解する。【Cア・Cイ・Cウ】</li> </ul> ＊留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「馬のはなむけ」「あざる」など言葉遊びの要素を意識させる。</li> </ul>	古典文法や古文単語を理解しつつ、正確に現代語訳できている。【読】 ↓ 観察（机間指導）（発言） 点検（プリント）	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ 机間指導によって学習状況を観察しつつ、文法や単語については辞書や文法書で調べるよう助言しておく。
3	○本文の内容を読解する（「帰京」）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントに沿って、「帰京」本文を現代語訳しつつ内容を読解する。【Cア・Cイ・Cウ】</li> </ul> ＊留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・この場面を読むに当たり、土佐で娘を亡く</li> </ul>	古典文法や古文単語を理解しつつ、正確に現代語訳できている。【読】 ↓	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ 机間指導によって学習状況を観察し

		した点と、久しぶりの帰宅である点を確認させる。	観察（机間指導） （発言） 点検（プリント）	つつ、文法や単語については辞書や文法書で調べるよう助言しておく。
4	○本文の内容を読解する（「帰京」）。	・プリントに沿って、「帰京」本文を現代語訳しつつ内容を読解する。【Cア・Cイ・Cウ】 *留意点 ・二首の和歌の正確な現代語訳と、そこに込められた心情を考えさせる。	古典文法や古文単語を理解しつつ、正確に現代語訳できている。【読】 ↓ 観察（机間指導） （発言） 点検（プリント）	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ 机間指導によって学習状況を観察しつつ、文法や単語については辞書や文法書で調べるよう助言しておく。
5	○「女性仮託」に関する複数の資料を要約し、自分の意見をまとめる。	・プリントに沿って、「女性仮託」について様々な資料を読解して要約し、理由や根拠を明確にして自分の意見を持つ。【Bイ・Cオ】 *留意点 ・資料の読解と要約は難度が高く時間がかかるため、ペアワークによって状況Cの生徒が出にくいようにする。自分の意見をまとめる際には個の学習活動とし、自分なりの考えを深める。	考え方の異なる複数の資料を正確に読解できている。【読】 資料を基に、理由や根拠などを示しつつ自分の意見を文章化している。【書】 ↓ 観察（机間指導） 点検（プリント）	要約の前に、重要箇所に傍線を引かせ、ペアで確認するよう助言する。そして資料を再確認し、最も理解しやすかったものの挙げさせる。 ↓ 理解しやすかった理由を考えておくよう意識させる。
6 （本時）	○自分と同じ立場と異なる立場、それぞれと意見交流し、考えを深める。	・同じ考えの者同士で集まってグループAをつくり、プリントに沿って理由や根拠を明確にしつつ自分の意見を述べ、他者の意見を参考に自分の考えを補強する。【Aア・Aウ】 ・異なる考えの者同士で集まってグループBをつくり、異なる考え方を踏まえた上で、グループ全体の意見をまとめ、全体にむけて発表する。【Aア・Aウ】 *留意点 ・時間配分と学習の深まりとのバランスを見極める。 ・振り返りの時間を設定する。	理由や根拠を明確にしつつ自分の意見を述べ、異なる考え方の他者の意見を踏まえた上で、グループ全体の意見をまとめる。【話・聞】 ↓ 観察（机間指導） （発言） 点検（プリント）	グループAは同じ考えの者同士が集まっているので、他の意見を参考に考えをまとめるよう助言する。また、グループBは異なる考えの者同士が集まっているので、先ほどのグループAでの意見交流を参考にするよう助言する。

## 6 第6時の学習指導案

本時の位置	6 時間目（全6時間）		
本時の学習目標	ア 「女性仮託」について、様々な角度から検討して自分の考えを持つ。 （関心・意欲・態度） イ 「女性仮託」について、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して自分の意見を述べ、異なる考え方の他者の意見を踏まえた上で、グループ全体の意見をまとめる。 （話す能力・聞く能力）		
事前の準備	①生徒にも見えるようなタイマーなどを用意してタイムキープする。 ②発展プリント③までを完成させておくよう指示する。 ③グループA・Bとも、クラス全体を5人×8グループで分けて編成するので、予め机の位置などを移動させておく。 ④授業の反省や内容の振り返りができるような、アンケートやプリントを用意しておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□前時までの内容の確認 □本時の学習箇所と目標の確認	①発展プリント①～③に目を通し、自分の考えとその理由・根拠を確認する。 ②発展プリント④を用意し、本時の学習目標と活動を確認する。	・自分の考えを持つことができているかどうか、発展プリント③を観察して確認する。プリントの進捗状況によっては、完成させるまでの時間を少しとる。

展開 40分	<input type="checkbox"/> グループで自分の意見を補強する(グループA)	③同じ又は似た考えの者同士で集まってグループAをつくり、各自の考えをグループ内で発表する。 ④他の人が挙げる理由と根拠を、自分の意見を補強するという意識でメモを取りながら聞く。	・発展プリント③で、④～⑩のどの考えに最も近いのか、挙手により数を確認し、同じ又は似た考えの者をまとめ、クラス全体を5人×8グループで分ける。 ・意見交流の際は、自分の意見を発表する際も、他者の意見を聞く際も、理由と根拠に注意するよう促す。
	<input type="checkbox"/> 違う意見と交流しグループとしての意見をまとめる(グループB)	⑤違う考えの者同士で集まってグループBをつくり、各自の意見をグループ内で発表する。 ⑥グループ内で最も説得力のある意見を話し合いによって選び、グループとしての考えをまとめる。 ⑦各グループでまとめた意見と、その理由と根拠をクラス全体に向けて発表する。	・グループAを基準として、生徒が混在するように5名×8のグループBをつくる。 ・理由と根拠に注意しつつ、説得力のある説明をするよう助言する。
まとめ 5分	<input type="checkbox"/> 本時のまとめ	⑧本時のポイント(学習目標ア・イ)を再確認する。	・発展プリント③④を回収し、点検する。 ・生徒向けにアンケートを実施し、学習内容の振り返りを行うとともに、次回以降の授業改善に資する。